

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：社会福祉諸費

事業名 再犯防止対策推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部地域福祉課地域福祉係 電話番号：058-272-8435

E-mail：c11219@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 575千円（前年度予算額：620千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	620	0	0	0	0	0	0	0	620
要求額	575	0	0	0	0	0	0	0	575
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

再犯防止推進法、国の再犯防止推進計画及び岐阜県再犯防止推進計画に基づき、国との適切な役割分担を踏まえて、市町村・民間団体等との緊密な連携協力を確保し、地域の状況に応じた施策を策定・実施する。

(2) 事業内容

1 再犯防止対策推進協議会の開催

・岐阜県再犯防止推進計画策定委員会の構成機関を中心に新たな関係機関を加え、岐阜県再犯防止推進計画の推進について協議するための協議会を開催

2 再犯防止推進研修の開催

・市町村職員・関係機関職員・県民等を対象とした研修会を開催し、再犯防止に関する理解を深め、市町村再犯防止推進計画策定や施策の実施に向けた機運を醸成する。

(3) 県負担・補助率の考え方

再犯防止推進法第4条第2項の規定に基づき、再犯の防止等に関し、地域の状況に応じた施策を策定し、及び実施する責務を県が有するため県負担で実施。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	210	委員報償費、講師謝金
旅費	109	委員費用弁償、職員旅費
その他	256	消耗品費、会議費、役務費、使用料
合計	575	

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県再犯防止推進計画（平成30年度策定）

(2) 国・他県の状況

- ・国 「再犯防止推進計画」策定（平成29年12月15日閣議決定）
- ・鳥取県「鳥取県再犯防止推進計画」（平成30年4月策定）

(3) 後年度の財政負担

- ・期限を定めず継続的に実施

(4) 事業主体及びその妥当性

再犯防止対策推進に係る事業は、罪を犯した人の円滑な社会復帰を促し、県民の安全で安心な生活を守るとともに、県全域での明るい社会づくりにつながるものであり、県が事業主体となることは妥当。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

記入しない項目欄は斜線を引いてください。

- 新規要求事業
 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
県民が犯罪による被害を受けることを防止し、安全で安心して暮らせる社会の実現を図るため、再犯防止に関する施策を盛り込んだ計画を策定し、関係機関と連携して計画を推進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H29)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標	
						達成率
① 市町村再犯防止推進計画策定市町村数	0	5	42	42	42	12%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

--

(これまでの取組内容と成果)

<p>令和2年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等） ・ 再犯防止に対する理解を深めるため、市町村職員と保護司、再犯防止支援機関職員を対象に再犯防止推進セミナー及び再犯防止推進研修会を開催した。 <p>【再犯防止推進セミナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催日 令和3年3月25日（木） ・ 対象者 県民、再犯防止支援機関職員、相談支援機関職員等 ・ 内 容 行政説明（県地域福祉課） 事例発表（株式会社代吉、羽島市サポートセンター） <p>【再犯防止推進研修会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催日 令和3年3月2日（火） ・ 対象者 市町村職員、相談支援機関職員等 ・ 内 容 事例発表（土岐市） 講演（朝日大学法学部長 大野正博 氏） <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の進捗管理及び意見交換等を行うため、「岐阜県再犯防止推進協議会」を令和3年2月22日に開催し、計画の推進を図った。
<p>令和3年度</p>	<p>令和5年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>
<p>令和4年度</p>	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>検挙人員に占める再犯者の割合である「再犯者率」は近年4割近くとなっており、安全で安心して暮らせる社会を構築する上で、犯罪や非行の繰り返しを防ぐ「再犯防止」が大きな課題となっている。</p>
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>微増であるものの、事業開始以降、市町村再犯防止推進計画策定市町村は増加しており、今後、更なる普及・啓発に努めることで、策定済市町村数の増加を図る。</p>
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 1	<p>過去の実績に応じた積算とするとともに、研修内容等について、適宜見直しを行っている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 薬物依存者の再犯率低減が課題。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 犯罪をした人の社会復帰のためには、就労・住居の確保、保健医療・福祉サービスの利用促進など、長期の支援が必要であることから、継続的に実施していく必要がある。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p>【〇〇課】</p>
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	